

令和3年度「京丹後市いじめ調査（2回目）」結果について

1 実施状況

(1) 未実施 11名

【内訳】小4：1名、小6：3名、小5：3名
中1：2名、中2：2名

(2) 家庭訪問での調査 17名

【内訳】小4：1名、小5：1名、小6：2名、中1：1名、中2：5名、中3：7名

	小学校	中学校
在籍児童生徒数(人)	2348	1323
調査児童生徒数(人)	2341	1319
内家庭訪問での調査(人)	4	13
未調査児童生徒数(人)	7	4
実施率(%)	99.7	99.7

2 認知と解消について

(1) 認知件数と内訳

		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計	京都府 小学校
認知	男子	32	53	31	13	21	16	166	4	9	1	14	
	女子	35	25	41	19	22	8	150	3	1	2	6	
	合計	67	78	72	32	43	24	316	7	10	3	20	
未 解 消	A要指導	0	6	7	0	0	2	15	0	1	1	2	1,326
	B要支援	8	9	9	2	3	1	32	1	0	0	1	1,037
	C見守り	59	58	52	27	35	18	249	6	8	2	16	5,650
解消		0	5	4	3	5	3	20	0	1	0	1	227

A: 行為止んでおらず被害者の苦痛あり B: 行為止んでいるが苦痛あり C: 行為止み苦痛もないが3カ月経過していない

ア 京丹後市いじめ調査2回目では、1つの中学校を除く全ての小中学校でいじめを認知している。

イ 認知件数は小学校316件（1回目調査 -56件）中学校20件（1回目調査 -8件）

ウ 要指導・要支援件数の比較

	小学校				中学校			
	R2 1回目	R2 2回目	R3 1回目	R3 2回目	R2 1回目	R2 2回目	R3 1回目	R3 2回目
認知件数	358件	350件	372件	316件	34件	28件	28件	20件
要指導	16件 (4.5%)	30件 (8.6%)	16件 (4.3%)	15件 (4.8%)	0	4件 (14%)	0	2件 (10%)
要支援	12件 (3.3%)	17件 (4.9%)	37件 (9.9%)	32件 (10.1%)	3件 (8.8%)	1件 (4%)	1件 (3.6%)	1件 (5%)

(2) 認知率

	回	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	府小学校	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計	府中学校
元年度	1	18.7%	18.1%	28.0%	20.2%	13.3%	7.0%	17.2%	18.6%	4.0%	3.9%	1.5%	3.1%	4.0%
	2	26.3%	16.4%	26.5%	17.8%	12.0%	5.9%	17.0%	16.3%	4.5%	1.7%	2.4%	2.9%	3%
	3	25.5%	10.9%	21.2%	12.2%	9.0%	1.8%	13.0%	—	4.7%	0.6%	1.1%	2.1%	—
2年度	1	26.6%	17.0%	11.1%	20.1%	10.9%	5.7%	14.9%	13.5%	3.9%	2.5%	1.3%	2.5%	2.5%
	2	31.8%	16.9%	11.5%	16.8%	6.8%	5.3%	14.5%	14.4%	2.3%	3.4%	0.6%	2.1%	2.6%
	3	20.7%	13.1%	9.2%	12.2%	4.4%	4.2%	10.4%	—	1.4%	1.1%	0.4%	1.0%	—
3年度	1	18.0%	24.5%	22.4%	10.4%	14.5%	6.1%	15.9%	15.7%	3.4%	2.1%	0.9%	2.1%	3.2%
	2	17.0%	20.0%	18.2%	8.3%	11.8%	5.8%	13.5%	14.3%	1.6%	2.3%	0.7%	1.5%	2.7%

ア 中2以外のすべての学年が、1回目調査より認知率が下がっている。

イ 小中学校とも、府の2回目調査の認知率と比較し低い認知率となっている。

ウ 2回目調査の認知率を3年間で比較すると、小中学校とも年々減少しており、本年度の認知率が最も低くなっている。

(3) 1 回目の追跡調査結果について

3年度1回目	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	合計
認知件数	71	95	88	40	53	25	372	15	9	4	28

【追跡調査の結果】

解消件数 (解消率)	69 (97%)	80 (84%)	77 (86%)	40 (100%)	46 (87%)	25 (100%)	337 (91%)	12 (80%)	8 (89%)	2 (50%)	22 (79%)
未 解 消	A 要指導	2	9	5	0	6	22	0	1	1	2
	B 要支援	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	C 見守り	0	5	6	0	1	12	3	0	1	4

- ア 1 回目調査で認知したいじめについては、小学校で約 91%、中学校で 79%が解消している。
- イ 「A 要指導」：小学校が 22 件（R2 同調査 4 件）、中学校 2 件（R2 同調査 1 件）
いったん指導により止んだ行為が 3 か月以内に再度繰り返されている。
- ウ 「B 要支援」：小学校 1 件（R2 同調査 4 件）、中学校 0 件（R2 同調査 1 件）、
- エ 「C 見守り」：小学校 12 件（R2 同調査 14 件）、・中学校 4 件（R2 同調査 3 件）
- オ すべての事象について、児童生徒の状況に応じた指導と、児童生徒の気持ちが納得するまで、支援・見守りを継続することが重要と考えている。

3 態様の状況について

いじめの態様(複数回答)	小学校					中学校				
	京丹後市				京都府	京丹後市				京都府
	1回目		2回目		2回目	1回目		2回目		2回目
	人数	割合	人数	割合	割合	人数	割合	人数	割合	割合
冷やかしやかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	224	40.6%	200	47.6%	39.7%	18	46.2%	14	51.9%	52.6%
仲間はずれ、集団による無視をされる。	54	9.8%	33	7.8%	12.2%	3	7.7%	2	7.4%	8.8%
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	104	18.8%	76	18.1%	19.0%	5	12.8%	3	11.1%	14.1%
ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする	54	9.8%	38	9.0%	8.9%	3	7.7%	3	11.1%	4.9%
金品をたかられる。	12	2.2%	5	1.2%	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.9%
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	31	5.6%	9	2.1%	4.1%	1	2.6%	0	0.0%	2.0%
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	67	12.1%	54	12.8%	8.2%	5	12.8%	1	3.7%	5.3%
パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	5	0.9%	3	0.7%	1.7%	2	5.1%	2	7.4%	4.6%
その他	1	0.2%	3	0.7%	4.2%	2	5.1%	2	7.4%	6.8%
合計	552		421			39		27		

- ア 総態様件数：小学校 421 件（1 回目調査比-131 件）、中学校 27 件（1 回目調査比-12 件）
- イ 小中学校とも、認知件数の減少に伴い態様件数が減少している。
- ウ 小中学校とも「冷やかしやかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」の態様が最も多い。
- エ 小学校は、「嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする」の項目が、1 回目と同様京都府より高い。
- オ 中学校は、「ひどくぶたれたり、叩かれたりする」の態様の割合が京都府より高い。
- カ 「パソコンや携帯電話で誹謗中傷や嫌なことをされる」の内容については、小学校ではオンラインゲーム、モバイルメッセージアプリでのトラブルは小中学校ともあげられている。
- キ 「その他」の内容は、個人での無視、対人関係の不安をあげている。

4 いじめの「重大事態」について

2 回目調査、および本日まで「重大事態」の認知及び発生はない。